

「出題の意図」

選抜区分	2022年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 外国語学部 国際関係学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>＜面接の意図・ねらい＞</p> <p>後期日程の面接は、国際関係に対する問題意識と学習意欲を受験生自身の言葉で語って貰いながら、自分の考えを口頭で論理的に表現する能力をはかるとともに、円滑なコミュニケーションを遂行する力を有しているかを確認するものであった。志望動機、高校時代の経験、大学生活のビジョンや学習計画、最近関心を持った時事問題や読書で得た知見などに関する問いを投げかけ、受験生が過不足なく応答しているか、大学での学習に向けた準備をどのように進めているかを中心に、受験生の力を判断した。</p> <p>＜評価のポイント＞</p> <p>多くの受験生は国際関係学科のホームページやパンフレットを確認するなど周到に準備をしていた。自分の体験や将来目標に基づいて話を展開できた受験生は、明朗に説明し、主張にも一貫性があったように見うけられた。一方、国際関係学科で何を学びたいのか、なぜ国際関係学科に進学したいのかについて、学科案内に掲載された情報をそのまま述べているようにみえた受験生もいた（留学したい、外国に関心がある、外国語を学びたい、など）。また、模範解答を丸暗記してきたり、抽象的な言葉を多用したり、具体的に説明できなかつたりした場合は、学習意欲や表現力・コミュニケーション力の面で存在感を示すことができない。問いに対する解答を論理的に組み立てて説明し、受験生が抱いているイメージを面接官が共有できるように丁寧に話すことが肝要である。本学科でできることと、自分がしたいこととを整理して述べる必要があるだろう。</p>